

／ 専門店が指南！／

# 美しい浴衣の着付け方

**手元の帯の残し方**  
半分に折り、肩から少し出るくらいの余裕があると結びやすい



**胴の巻きはじめ**

半分に折ったのを体の正面で上下に開いて巻き始める  
両面の色が違う帯を折って差し色を作るなら2周目以降に

**帯が崩れにくい  
手の使い方**

巻きはじめを押さえる手は帯の上を、巻き付けていく手は帯の下を持つと引き締めやすい



**しっかり結ぶには**  
手元の短いほうを長いほうの上から下へくぐらせ、左右真横の方向へしっかり引き締める

**文庫結び**

長いほうの端を体の幅に合わせて、じゃばらに折る



中を谷に、上下を山に折り、短いほうを上から巻き付け、しっかり引き上げる。引き上げた端は帯板の前へ入れ込む

**Point!**



**襟の抜き加減**  
こぶし1つ分が上品



**帯板はマスト**

胴に厚みが出て帯が美しく決まるだけでなく、自分で着つける場合、帯を回す際の着崩れを防ぐ



両面で色が違う帯は羽をずらすなどして楽しんで!



端のこりは下から引き出し、端を巻き上げたら帯の間から結び目を支えるように中へたくし込む。結び目を押し上げるようにし、高さが出るとキレイ。



**Point!**



帯を回すときは、左手で帯板を持ち、右手で結び目のあたりを持って浴衣の合わせの方向へ回すと崩れにくい

襟元を閉じる  
開いているとだらしない印象に



**おはしより**

身体に垂直になると◎

**おはしよりの長さ**

帯から人差し指1本分くらいがベスト

**キレイなおはしよりの作り方**

内側を上に戻す

折り重なる内側を上に戻すと胴に厚みが出て帯を巻いたとき美しい



左側を上を引き上げる

下線が左に下がりやすいので、引き上げておく◎。带上から出そうな部分はタックを取る



**前幅**

左右どちらかに片寄らないように